

家庭学習の手びき（保護者用）



1. 家庭学習で目指す「子ども像」

- ① 家庭での学習習慣を身につけた子ども。
- ② 自発的に学習する習慣のついた子ども。
- ③ 家庭でも学校と同じように学ぶ子ども。
- ④ 基礎学力を身につけ、自分の成長を実感できる子ども。

☆中でも大切なことは、①の「家庭での学習習慣を身につける」ということです。お家で机に向かうという習慣が後々の家庭学習に大きな影響を与えます。小学生のうちから身につけさせたい習慣です。

2. 家庭学習の取り組み方

- ①「宿題」があるときは、まず最初に「宿題」をしましょう。文字は丁寧に書くようにしましょう。
- ②低学年…時間に余裕のあるときは、「家庭学習の手びき」（児童用）の中から選んで学習してみましょう。なかなか勉強に気が向かない時は、読書や折り紙などでもかまいません。「毎日机に向かう」という習慣が大切です。
- ③中・高学年…「家庭学習の手引き」（児童用）のほか、自分で課題を考えて、できるだけ毎日取り組みましょう。

3. 家庭学習における保護者の役割

①学習時間の確保

少年団活動や習い事など、子どもたちも忙しいと思いますが、短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣をつけたいものです。「何時から何時まで勉強する」ということを家庭で話し合っ、無理のないように毎日の学習時間を決めましょう。

※学習時間のめやす 「学年×10分+10分以上」 <例> 3年生 3×10+10分で30分以上

②学習環境の整備

お子さんが落ち着いた学習環境で学習に取り組むことができるよう、「テレビを消す」など、各家庭で工夫したり、話し合ったりしてください。

③見届け・励まし

「できるようになったね。」とお家の方にほめていただいたり、励ましていただいたりすることで、お子さんのやる気がどんどん出てきます。お子さんの学習したものに目を通し、コメントを書いてあげたり、はんこを押したり、シールを貼ってあげることもよいでしょう。また、お子さんと一緒に学習に取り組むことも、お子さんの学習の様子を把握するためのよい方法です。

家庭学習の考え方

- ① 学習に向かう心構えをしっかりとつくる。 <学習の約束>
- ② 学習時間を決めて、毎日取り組む。 <学習時間の確保>
- ③ 家庭学習の取り組み方を理解する。 <学校と家庭との連携>
- ④ 「ながら」勉強をしない。 <学習環境の整備>
- ⑤ しつけから自主自立へ <続けることで自分流に>
- ⑥ 規則正しい生活で学力向上 <十分な睡眠・朝食の習慣・テレビやゲームのルール>
- ⑦ 子どもの「がんばり」を認め、褒める。
- ⑧ 子どもがいつでもたずねられるように。
- ⑨ 親子のふれ合いの場所にする。（読み聞かせ、対話など）